

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	音楽業界研究 2	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	全コース	開設期	後期
対象年次	1 年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2 単位	授業形態	演習		
教科書/教材	プロジェクターへの課題例示、板書を行う。Mac、スマートフォンやタブレット、無料オンラインサービスを使用する				
担当教員情報					
担当教員	大関		実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン	
学習目的					
音楽業界の現状を学ぶ事を目的としながらコンピュータリテラシーの基礎を学んでいく。特に音楽業界人に利用者が多いMac操作を通じて、スタッフワーク、クリエイティブワークともに仕事上スムーズなやりとりができるスキルを身につける。アプリケーションの操作方法を覚えるだけでなく、課題を制限時間内にクリアすることにより、仕事効率化への意識を高めることができる。クラウドを中心としたオンラインサービスの使用方法を学び、エンターテインメントに関するファイル操作のコツを掴むこともねらいの一つである。					
到達目標					
以下のコンピュータリテラシーを習得できることを到達目標として設定する。①Macの起動終了、外部メディア操作、ファイル操作を行う。②ブラインドタッチ、タイピングスピードを向上する。③ラジオ番組企画書、台本作制を通したOfficeドキュメント制作ができる。④音源編集でGarageband、Protoolsなどのシーケンスソフトを使用する。⑤エンターテインメント関連ファイルの操作のコツを身に着ける。⑥クラウドを中心としたオンラインサービスの管理方法を身に着ける。					
教育方法等					
授業概要	グループワークを中心としたMac操作、スマートフォン操作による課題制作を実施する。ラジオ番組企画→素材収録→構成編集→音源書き出しなどの一連の流れを経験し、授業内で音楽番組を完成させる。この授業に主体的に参加する学生が、企画制作能力、プレゼンテーション能力を向上し、自身の音楽活動におけるライブ、プロモーション活動のみならず、音楽系企業への就職においても有利となるソフト操作経験を得る。				
注意点	この授業では、学生個々の経験（高等学校での情報処理授業の履修、PC所有の有無）等による到達度の差に留意しながら授業を行う。机間巡視を通じて適宜、操作補助を行う。提出物はオンライン提出を評価の対象とする。学生個人が所有するスマートフォン、タブレットを用いた学習を行うことがあり、その場合は使用を許可する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験	20%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために授業内で実施する		
	提出物	50%	授業内容の理解度を確認するためにオンライン提出を実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	10%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	前期の振り返り		前期に習得したスキルのチェック。後期の講義で学ぶ内容について説明する		
2 回	Office文書作成		タイピングスキル応用、歌詞カードの作成		
3 回	音楽番組研究		タイピングスキル応用、ラジオ音楽番組の研究		
4 回	チーム作り・役割分担		タイピングスキル応用、番組制作チーム作り、スケジュール		
5 回	番組企画制作・台本作成(1)		タイピングスキル応用、番組制作テーマ決め、台本作成		
6 回	番組企画制作・台本作成(2)		タイピングスキル応用、番組制作テーマ決め、台本作成		
7 回	番組収録・編集(1)		タイピングスキル応用、番組の音源素材を収録		
8 回	番組収録・編集(2)		タイピングスキル応用、番組の音源素材を編集		
9 回	番組収録・編集(3)		タイピングスキル応用、Protoolsを使用した番組編集		
10 回	番組収録・編集(4)		タイピングスキル応用、Protoolsを使用した番組編集		
11 回	発表		各チームの音源を発表、フィードバック		
12 回	年度末ライブイベント対策		1，2 年合同ライブイベント対策授業を通じてプレゼンテーションを学ぶ		
13 回	年度末ライブイベント対策		1，2 年合同ライブイベント対策授業を通じてプレゼンテーションを学ぶ		
14 回	年度末ライブイベント対策		1，2 年合同ライブイベント対策授業を通じてプレゼンテーションを学ぶ		
15 回	まとめ		全体のまとめ、到達度確認チェックを実施する		